# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年第4週(1月23日~1月29日)

## 今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

## 定点把握感染症

「インフルエンザ 注意報レベル超え続く」

第4週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,523例であり、前週比2.2%増であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、それぞれ6.56、0.57、0.15、0.14、0.13である。

感染性胃腸炎は前週比1%増の1,272例で、南河内10.69、大阪市北部9.64、中河内7.15、泉州6.47、北河内6.28であった。

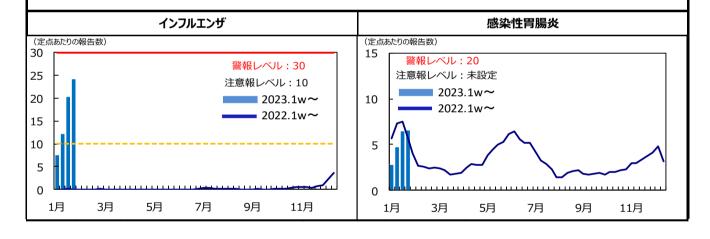
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は48%増の111例で、大阪市南部1.61、北河内0.92、南河内0.81である。

咽頭結膜熱は13%減の28例で、南河内0.44、大阪市南部0.33、大阪市東部0.29であった。

RSウイルス感染症は73%増の26例で、南河内0.50、北河内0.28、大阪市東部0.14である。

流行性角結膜炎は14%減の6例で、堺市0.40、南河内・大阪市南部0.25であった。

インフルエンザは19%増の7,254例で、定点あたり報告数は24.34である。南河内41.04、大阪市北部35.35、堺市33.86、大阪市西部33.53、府内4ブロックで警報レベルを超えた。



#### 表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第4週1月23日~1月29日)

第4週の 順位	第3週の 順位	感染症	2023年 第4週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2022年 第4週の 定点あたり 報告数	2023年第4週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.56	1%増	5.63	1歳_18%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.57	48%増	0.26	4歳,5歳_14%
3	3	突発性発しん	0.15	37%減	0.15	1歳_48%
4	4	咽頭結膜熱	0.14	13%減	0.09	1歳_39%
5	8	RSウイルス感染症	0.13	73%増	0.37	1歳_38%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	24.34	19%増	0.01	10-14歳_21%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

## 第4週のコメント

~侵襲性髄膜炎菌感染症~ 大阪府では、毎年2-4例の報告があります。

#### 全数把握感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌 (Neisseria 8 80 meningitidis) による侵襲性の感染症である。潜伏期は 2023年は 第4週時点 通常2~10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症 7 70 **大阪府累計** 状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、 全国累計 6 60 ショック、播種性血管内凝固症候群(DIC)を呈する。髄 膜炎ベルト (meningitis belt) とよばれるアフリカ中央部 50 5 大阪府報告数3 で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告があ 40 報 る。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗 菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピ 30 シンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価 髄膜炎菌(血清型A、C、Y、W-135)ワクチンの任意接 2 20 種が開始されている。 10 1 0 2015 2016 2017 2019 2014 侵襲性髄膜炎菌感染症とは(国立感染症研究所)

### 表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第4週1月23日~1月29日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

(TACH OSSESSIBLE CONTRACTOR AND CONTRACTOR AND											
	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	數 能		北 河 内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8		3			1			4	10
4類感染症	E型肝炎	1								1	1
4 規恩采加	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	8
	アメーバ赤痢	1								1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2								2	5
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	2							1	1	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2			1					1	2
	梅毒	11	2		1			1	1	6	55
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 <b>27,524</b> 2020年1月以降累計 2,762,82						62,821				
結核	<b>結核 新登録患者数:88名</b> (内 肺·喀痰塗抹陽性 33名)										
(2022年11月分) (府内累積報告数 1,024名、内 肺・喀痰塗抹陽性 400名)											

(2023年1月31日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。